
ある授業中の風景

無一物無一文

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある授業中の風景

【Nコード】

N2363BA

【作者名】

無一物無一文

【あらすじ】

あなたの学生時代の授業中はどんな感じでしたか？

授業開始チャイム

この話に意味はない。
この話にオチはない。
この話に希望はない。

残り時間50分 金居

「はい、とつとと席に着くッ!!」

勢いよくドアを開け放ち、威風堂々と教室に入ってくる女教師石井智子28歳。細い黒リボンを使って高い位置で左右に結われた髪をなびかせながら今日も元気に教壇に立つ。立つ。立つ。立つのはいい。彼女は背も高く細身で特徴的な冷たい瞳を持つまさにクールビューティーな女性だ。だ。だ。だが、なぜか、なんでか、どうして、理解できないが、ツインテールだった。ああ、いや、似合っていないわけじゃない。彼女ほどの美貌の持ち主ならどんな髪型だったきつと似合うさ。うん、そんなことわかってる。でもね……その髪型が許されるのは、某お嬢さま女子学校に通う「ごきげんよう、お姉さま」とか「ネクタイが曲がっついてよ」とか「お姉さまの顔がこんな近くに……」とか、わかるだろ、わかるよな、言わなくても。駄目なんだよ、先生あんたじゃ。足りないんだ。決定的なにかがッ!!

「おい、なにこつち睨んでんだ金居ッ!! 裸で廊下に立たせんぞッ!!」

違うんだ、違うんだよ先生。それじゃ駄目なんだ、それじゃ足りないんだ、それじゃ、決定的なにかがッ!!

「ハイお前裸の少年けつてーいッ!」

金居 退場

残り時間 48分 山形

うっ、お腹が……

残り時間 40分 佐藤

愛してるよ、由美。

そんな視線を窓側最後尾の席にいる僕の恋人、由美に送り続けて
10分。

彼女はまだ、気づかない。

残り時間 39分 白石

とどけこのキモチ、石井くんに。

一大決心して飛ばした紙飛行機は、まっすぐ廊下側最後尾の石井
……を越えてゴミ箱に届けられた。残念。ひとつ括りのおさげ髪が
ちよつと逆立った。

残り時間 38分 橘

どうしたらいいんだ俺は。

さつきから、佐藤が真剣な眼差しで俺をみつめてくる。喧嘩か？

喧嘩を売られてるのか？　だがしかし、10分以上もあんな真剣な眼差しで……うわ、まだ見てやがる。

残り時間37分　金本

はあ……もうここ、塾でやったよ……。

つまんねえ。つまんねえよ学校。

あたしはあまりの暇さ加減を紛らわすために窓の外に視線を移した。

……………。

なにやってんのあの馬鹿体育教師は……。

視線の先には、赤いハイレグー丁の筋肉隆々の体育教師、財津が砂場を一生懸命掘っていた。全身から湯気を発しながら一心不乱に凄まじい勢いで。

……………。

と、とりあえず様子見。

残り時間35分　山形

頑張れえ、頑張れおれ……。

残り時間32分　近藤

最近、石井の奴、つきあいが悪い。遊びに誘っても断るし、学校終わったらそそくさとどっかいきやがる。

くそ、あいつとは魂の絆で結ばれた真の友と書いて真友だと思ってたのに。裏切られたぜ。殺してやりたいぜ。

「なあ石井」

隣りの席にいる石井に殺意を抱きつつ、やはりつれなくなった理由が気になるので殺すのはもう少しあとにしようと思ひ直す。

「お前さ、最近」

残り時間 30分 佐藤

いつまでも一緒だよ、由美。

そんな視線を窓側最後尾の席にいる僕の恋人、由美に送り続けて20分。

彼女はまだ、気づかない。

そして、なぜかひとつ前の席にいる橘がちらちらこっちを見てはうつむいている。

残り時間 27分 小池

愛の怖さを、最近、よく感じるの。ううん、幸せなの、幸せなのよ。佐藤くんはとっても私を愛してくれてるし。いやん、愛してくれてるとかバカップルみーたいーい。きゃっ。

「いた、いたい、て、小池、やめ、止める小池」

気がつけば、前の席の橘くんの背中をバシバシ叩いていた。

「あつ、ごめんなさい橘くん」

ちよつと赤面しつつうつむいてごまかす。

「ったく、たまにお前は意味不明だな」

「ごめん……」

だって、だってだって、愛されてるんだもん。幸せで、この気持ち、抑えるの必死だよ。

残り時間 27分 佐藤

今度の休みはどこかいこうね、由美。

そんな視線を窓側最後尾の席にいる僕の恋人、由美に送り続けて
23分。

彼女はまだ、気づかない。

そして、なぜか橘の背中を勢いよく叩きだした。

橘と由美に一体なにがッ!?

残り時間27分 山形

無理っす、もう、無理っすよ……

残り時間23分 白石

こ、今度こそ、今度こそ、とどけこのキモチ、石井くんに。

あらゆる神々に祈りを捧げながら飛ばした紙飛行機は、まっすぐ
廊下側最後尾の石井……を越えてあるうことかドアの隙間をも潜り
抜けて全裸で立っている……だめええええええッ!!

私は立ち上がり走りだした。勢いよく倒れる椅子。もういいの。

なぜか景色はスローモーションで。こんなことならケータイ使えば
よかった。後悔したって手遅れで。やめて、やめて裸の少年。その
紙飛行機に触れないで。私のキモチ汚さないで。

だけど、裸の少年は、そんな私のキモチなんてわかってくれるわ
けもなく……。

いま、紙飛行機を手に取った裸の少年が、ゆっくりとその紙を広
げ

私の人生が終わった瞬間だった。

残り時間 17分 石井

さつきから近藤がしつこく「つきあいがわるい」と何回も言ってくる。

お前は俺の恋人かってんだ。

俺も最近、なんか独りでいる楽しみっていうの、そういうのに目覚めちゃったから、正直、この近藤のしつこさがきつい。

はあ……どうしたものか……

残り時間 15分 山形

……………。

残り時間 12分 橘

くそ、なんなんだ今日は……。

佐藤はずっとこっち見てるわ、小池には背中叩かれるわ……。てか、佐藤はなんかこっち睨みだしたし……。

早く、早く授業終わってくれ。

両手を組み、祈りを捧げるように顔を机に押しつけた。

残り時間 8分 金本

財津がどうやら掘るのをやめたようだ。

というより、こんな真冬の最中にハイレグー丁って……駄目だあ

いつ、もう駄目だよ……というか、あんなのが教師やってるこの学校が駄目だよ……って!?

財津が掘った穴にいきなり飛び込んだ。なにやってんだよ財津。うわ、なんか自分で自分を埋めだした……。財津……。財津……。すっかり砂場に顔だけをひよっこりだして埋まりきった財津。なんかすごいやりきった顔してる。母ちゃんやったよ、俺、天下取ったよ、てなぐらい誇らしげな顔してる。財津……。

私はこのとき、もう学校には行かないでおこうと心に決めた。

残り時間5分 近藤

もう石井にわけを尋ね続けてどれくらい経っただろう。奴はなかなか口を割らない。こうなったら意地だ。男の意地だ。絶対わけを聞きだしてやる。

「なっ、石井よ、言えって、なっ」

「あーもう、うっせんだよ近藤ッ!!」

突然、石井が掴みかかってきた。

「そんなに聞きたきや教えてやるよッ!! お前がうぜえからだよッ!! しつこいんだよッ!! 黙ってるよッ!!」

「う、うぜえって……」

馬鹿な、俺とお前は真の友と書いて真友……馬鹿な……。

残り時間4分 石井

あまりのしつこさに、つい、口が滑ってしまった。

やべ、近藤が泣きそうな顔になってる。ああ、ここまでいうつもりは……。あー、もう……。

「……ごめん近藤」

近藤がいまにも泣きそうな顔でこちらを上目づかいに見る。ちよつとドキツとした。

こいつ、なんでこんなに美形なんだよ……。

近藤はそこらの女よりも美人な顔をしている。これは困った……。どうしたらいいんだ、俺……

残り時間 3分 山形

○

残り時間 2分 佐藤

きみを誰にも渡しはしないよ、由美。

そんな視線を窓側最後尾のひとつ前の席にいる僕の恋敵、橘に送りだして25分。

[illegible]

タアチイバアナアツ！！

残り時間 1分 金居

え！？白石さんが俺のこと……。

授業しゅーりょーッ！！

「はい、とつとと席立つッ！！ 金居、白石、教室戻りなさいッ！
！ 日番、挨拶ッ！！」

今日もまた、こうして、授業は終了する。

了

（後書き）

昔書いた小説です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2363ba/>

ある授業中の風景

2012年1月5日23時45分発行